

保護者様

横浜市立 山内 小学校  
校長 佐藤 正淳  
児童いじめ防止委員会

# 第1回山内小児童いじめ防止委員会の報告

日頃より本校の教育活動に多大なるご支援ご協力をいただきありがとうございます。

7月5日(月)に、3・4年生のクラス代表、5・6年生の児童いじめ防止委員、地域の皆様、主任児童委員、PTA、教職員が本校体育館に集まり、「第1回山内小児童いじめ防止委員会」を行いました。いじめ防止委員会の取組は、児童が主体となり、学校・家庭・地域が力を合わせていじめをなくし、安心安全な山内小学校を目指す取組で、今年で6年目になります。他校でも同様な取組を行うようになってきています。第1回の話し合いについてご報告させていただきます。

【テーマ】 「あったかハート」でいじめ0(ゼロ)の山内小学校をつくろう

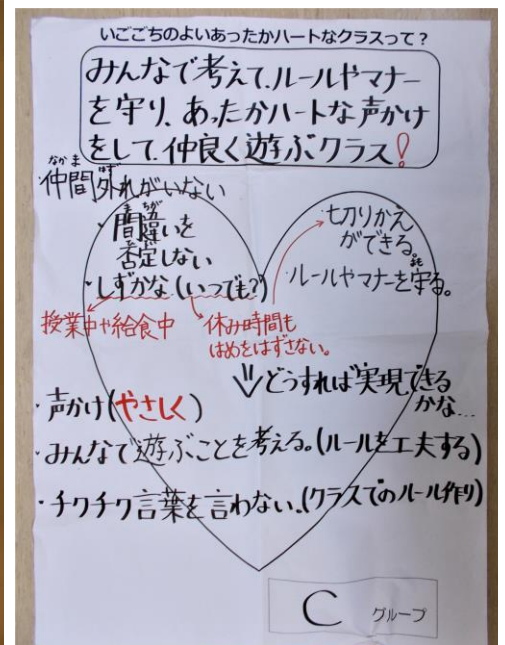
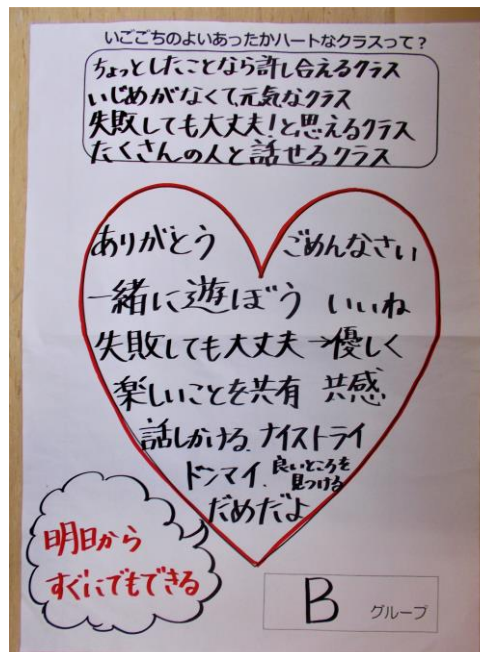
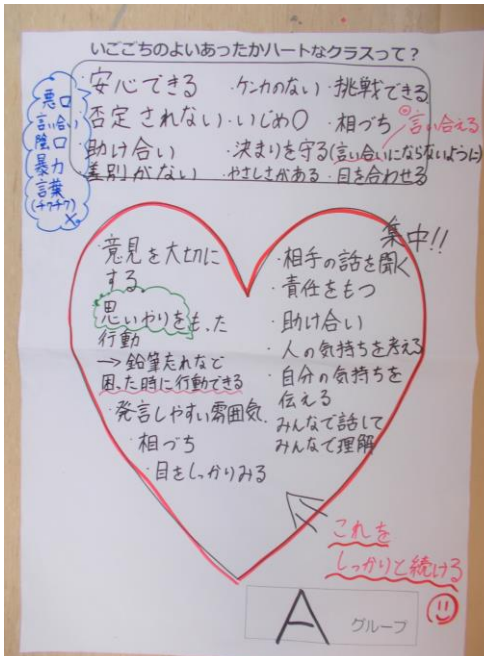
【参加者】 3・4年生クラス代表児童  
5・6年生児童いじめ防止委員  
地域の皆様 主任児童委員  
PTA役員 教職員

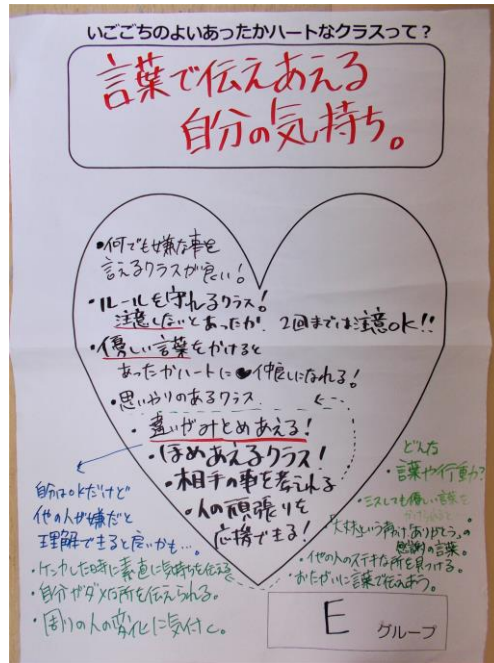
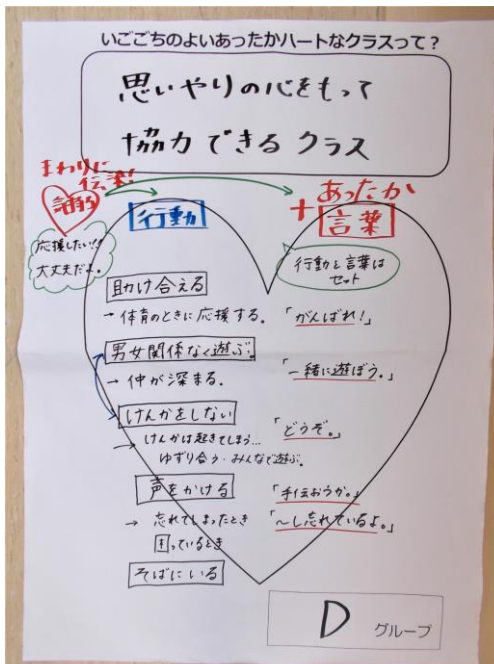
【内容】 「居心地のよいクラスって、どんなクラスなのだろう？」

## 【報告】

今回は、居心地の良いクラスとはどんなクラスかをテーマに話し合い、どんな言葉や行動が、あったかハートなクラスづくりにつながるのか考え、模造紙にまとめました。今までの体験や経験を振り返りながら、一人ずつが具体的に意見を出し合ったり、気持ちや考えを共有したりして、グループごとに意見をまとめていきました。

## 【各グループの話し合いから】





- ・いごちの良い、あったかハートとは、話を聞いてもらえたり、認め合えたりすることのできるクラスだと思います。例えば、話し合いの場面では、話をする人に対して、聞く姿勢を整え、うなずきながら聞くこともあったかハートな行動につながるのではないかと考えました。
- ・ちょっとしたことなら許し合える、小さな失敗は「いいよ」と言える雰囲気作りが大切だと思います。失敗することを許し合い、失敗が怖いと感じないクラスを作ることがいごちの良いクラスづくりへとつながります。そうでなければ、次の挑戦さえもできなくなります。誰かが失敗したときは「大丈夫だよ」「ナイストライ」「ドンマイ」などと声を掛け合うことが大切なのではないでしょうか。
- ・クラス全員と話をし、一人ひとりの表情や性格を知ること大切だと思います。冗談が通じるか？傷つかないか？人によって感じ方が違うので、その差を知ることあったかハートなクラス作りには必要だと思いました。併せて、「ダメだよ」「嫌だ」をはっきり言える、言いやすいクラスを作ること大切だと感じました。
- ・仲間外れをつくらない、他人の間違いを否定しない、マナーを守る、切り替えができる、ハメを外しすぎない、など相手の立場や目線で行動できれば、あったかハートなクラスを実現できると思います。その為には、①優しい声掛けをすること、②皆で関わることで遊べる遊びを考えること、③チクチク言葉を使わないように意識すること、をクラスの皆で考える必要があると思います。
- ・お互いに言葉で自分の気持ちを伝え合うことが大切だと話し合いました。「伝え合うこと」「感謝すること」をポイントに相手を思いやる意識を高めていきたいです。
- ・素晴らしい話し合いができていました。話が聞ける子どもが多いですね。この話し合いを今日の場だけで終わらせるのではなく、学校全体で共有したり、家庭での話し合いの場をもったりして欲しいと思います。いじめ問題を子どものみの問題として捉えるのではなく、大人と共有することを大切にしたいと思います。
- ・皆さんがチクチク言葉を言わないように意識していることを知りうれしく思いました。ぜひ、チクチク言葉の代わりに、あったか言葉を伝染させていって欲しいと思います。卒業生・地域皆が見守っています。いじめ防止に向けて頑張りたいと思います。

※7月15日には、よこはま子ども会議（小中ブロック）が山内中学校で開催されました。8月27日には、よこはま子ども会議（青葉区）が青葉区役所で開かれます。山内小児童いじめ防止委員会でも話し合った考えや思いは、小中ブロック、そして青葉区へと発信していきます。

### 【参観された方々から】

#### 【児童の感想】

- 初めて児童いじめ防止委員会に参加して「いじめ」という事がすごくわかりました。最初は緊張したけど、途中から発表をがんばることができました。
- 初めて会った人の前で発言するのが緊張しました。どうしたらクラスの皆や学校の皆が仲良くなれるのか考えられました。
- 高学年になり、初めての委員会が児童いじめ防止委員会でした。推薦で選ばれたこともあり、最初はなかなかやる気がでなかったけど、今はとてもやりがいのある仕事だと感じています。
- 積極的にはきはきと発言ができました。人の話もしっかりと聞いて良かったと思います。加えて、どのグループも良い考えを発表できていたので良かったです。

#### 【来賓の方々の感想】

- 短い時間ながら皆よく意見を出し合えて、とても有意義な時でした。日ごろから「あったかハート」を意識しながら学校で過ごしている様子がうかがえました。(主任児童委員)
- 久しぶりの参加をうれしく思います。子ども達の一生懸命に話し合う姿を見せていただきありがとうございました。(主任児童委員)
- 真剣に考える子ども達の表情が良かったです。なかなか発信できない子、思いを伝えられない子達の存在も気になりました。少し、ゆっくり話し合える場もあればうれしいです。(主任児童委員)
- 3～6年生まで集まって難しいテーマだと思いますが、真剣にテーマに取り組む姿を見させていただきました。あるグループに参加させていただきましたが、人の気持ちを考えた言葉が多く、素直に優しい心を持っている子たちなのだなと印象を受けました。児童だけではなく先生も同じ目線で考えていたことも、子どもの主体性が際立つことにつながり良かったです。私は2年生の息子をもつ保護者です。ぜひ上級生から下級生へと、この話し合い後の良い声かけや雰囲気伝わってくれる素敵だなと思いました。貴重な会に参加させていただいてありがとうございました。(PTA)
- 難しい内容でありながら、皆真剣に考えていて明日すぐにも実践できる事まで検討するのはすごいと思いました。私の子どもの時ではありえないです。時代が進んでいるなと思います。大人でもなかなか言えない事を今から言えるようになっていけば、素晴らしい大人になれると思いました。(PTA)

※皆さまからの貴重なご意見を参考に、今後の取組に生かしていきたいと思います。3・4年生のクラス代表、5・6年生の児童いじめ防止委員を中心に本日話し合った内容を学校全体に共有することで、居心地の良いクラス・あったかハートな山内小学校を作っていきます。